

# 大学の世界展開力強化事業(2018年度選定) 大阪市立大学 取組概要

【事業の名称】(選定年度2018年度・(タイプA))

『日米をつなぐ共創的ソーシャルイノベーター育成事業』

## 【交流推進事業の概要】

本事業は、アクティブラーニングやプロジェクト型演習科目へのCOIL導入と、留学等の既存の日米交流事業の前後にCOILを用いた授業の導入を組み合わせる事で、COILを用いた教育プログラムの質の向上と国内外への普及を目的とする。

**質の向上** 2つのコアコース

十修了者向けの(中・長期)留学とダブルディグリーの制度化

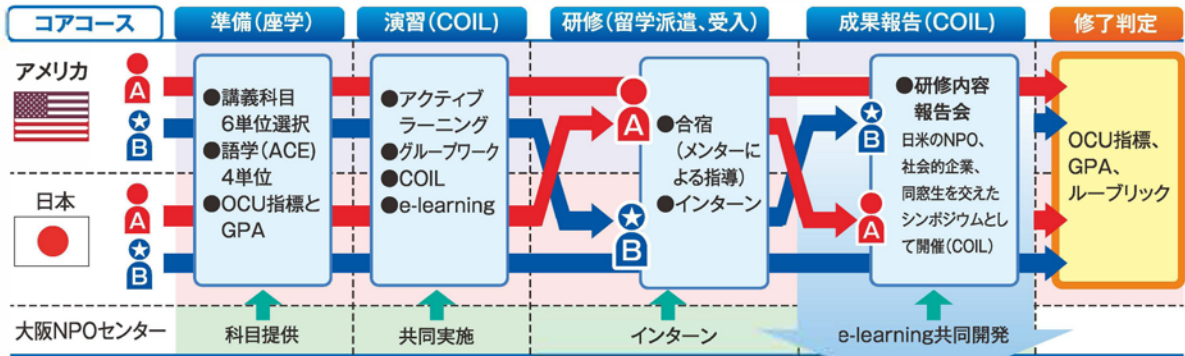
**普及** 演習科目へのCOIL導入、交流事業へのCOIL導入

● 本学の学生がアメリカに

A 留学するコース

★ アメリカ(及びフィリピン)の学生が来日し、

B その人達と合宿をするコース



## 質保証とサポート

### 質保証

- 共通シラバス(ルーブリックと評価プロセスの共同開発)
- ルーブリックの事前事後利用による教育効果の計測と改善
- 質保証を協議するプログラム実施委員会を組織

### サポート

- 事前講習
- デブリーフィングシートに、安全面の注意と対応も記入
- 現地旅行エージェントによるサポート、担当教員と現地日本人ガイドの同行。

Webコンテンツ化  
(日米共有の事例集)

e-learning化  
修了生と関連団体の交流の場

日米ソーシャルイノベーション  
交流プラットフォーム

## 【交流プログラムの概要】

座学、COILを用いた少人数からなるグループ演習、日米の学生が共に参加する研修(インターンシップ)を通じて、社会的課題の解決に必要とされる論理的思考、情報活用、外国言語・文化、表現、社会貢献、コレクティブ・インパクトの6つのスキルを段階的に習得させる。

## 【本事業で養成する人材像】

本事業では、国内の関連機関だけでなく、諸外国とも協働し、地域的社会的課題の解決にあたり、行政機関やNPO、社会的企業、企業のCSR担当として指導的役割を果たす事のできる、自らの専門性と独自性、社会的課題の解決に必要なスキル及び語学力を兼ね備えた“共創的ソーシャルイノベーター”を養成する。

## 【本事業の特徴】

本事業では、海外連携大学との間でCOILを用いた授業を共同で運営し、シラバスや個々の授業のアウトカム、ルーブリック、評価方法を相手大学との間で共同開発する。このような取組を通じ、質の保証を伴った国際連携教育のモデルを確立することで、将来的にアジア地域におけるCOIL型教育のハブへと展開を図る。

## 【交流予定人数】

	2018	2019	2020	2021	2022
本事業における COIL型教育の受講者数 (日本人学生)	20	20	40	40	40
本事業における COIL型教育の受講者数 (外国人学生)	20	20	40	40	40
学生の派遣	5	5	23	25	26
学生の受入	20	20	20	22	23